

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	就職対策・キャリア			科目No	MUA01
授業形態	講義	授業コマ数	75	単位数	5
担当教員	古賀彩・野中夕香子				
実務経験教員					
実務内容					
授業の概要	学生と社会人の違いを理解して、就職する目的を学習します。 キャリアプランを明確にし、自己理解を深めると共に、履歴書の書き方や面接のポイントも学びます。更に社会人マナーや基本的ルールを学習します。				
到達目標	社会のルールやマナーをベースに行動できるようになります。 自己分析や履歴書添削により就職準備と自分自身のアピールができます。 就職後の即戦力になる人材に成長することを目標とします。				
テーマ		内容			
理念、基本動作、5S		教育理念を理解し、実行できるよう基本動作をトレーニングする			
チームワーク		チームで協力する大切さを学び、実践することで尊重と感謝の気持ちを持つ			
働くことと学ぶこと		学生と社会人の違いを考え、社会人としての意識を持つ準備をする			
自己理解		自己分析で、長所や短所・特性を客観的に理解する			
業界研究		メイク業界の職種や現状を自ら研究することで就職後のキャリアを考える			
自己PR		自己理解をベースにアピールできる長所から表現方法を考える			
社会人常識マナー		社会人基礎力として大切な常識を学び常識範囲内での判断力を身につける			
履歴書・エントリーシート		履歴書やエントリーシートの書き方を学ぶ			
模擬面接		面接のマナーから、表情・話し方まで繰り返し練習する			
グループワーク		与えられたテーマのワークを通して、気づきを発表する			
教材				評価基準	評価率
配布資料				出席率	40%
				取組姿勢	30%
				課題・試験 成果物評価等	30%
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	メイク実習			科目No	MUA02
授業形態	実習	授業コマ数	300	単位数	10
担当教員	古賀彩・井手麻奈香・野中夕香子・若林志緒利				
実務経験教員	古賀彩・井手麻奈香・野中夕香子・若林志緒利				
実務内容	メイク関係業界でヘアメイクとして従事				
授業の概要	スキンケア、メイクアップの基礎知識から道具の使用法、手順などメイクアップを美しく仕上げる為のケア方法と様々なメイクテクニックを学びます。骨格の理解、立体を表現する技術や様々なシーンにあったテクニックを学習します。				
到達目標	技術の基本となる、「形」「色」「質感」を理解し、設定された時間内でメイクアップ技術ができるようになります。モデルの顔型に合わせたパーツメイクの修正やシーン、幅広いテクニックの表現を学びメイクアップの提案が出来ることを目標とします。				
テーマ		内 容			
ナチュラルメイク		基本的な化粧品で素早く自然なメイクアップができる			
ゴールデンプロポーション		顔のパーツ位置により印象の違いを学ぶ ゴールデンプロポーションに近づけるテクニックを学ぶ			
グラデーション		アイメイク中心にグラデーションテクニックを習得する			
立体		骨格を活かし、立体感をつくるテクニックを習得する			
カラーバランス		パーソナルカラーを活かし、カラーバランステクニックを習得する			
質感		様々な質感のメイクアップテクニックを習得する			
曲線フォルムメイク①		キュートな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える			
曲線フォルムメイク②		ソフトな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える			
直線フォルムメイク③		クールな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える			
直線フォルムメイク④		フレッシュな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える			
教 材				評価基準	評価率
メイクアップ科 教科書 配布資料 化粧品教材				出席率	30%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	50%
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	<b>メイク理論</b>			科目No	MUA03
授業形態	講義	授業コマ数	30	単位数	2
担当教員	橋本かすみ				
実務経験教員	橋本かすみ				
実務内容	メイク関係業界で美容部員				
授業の概要	化粧の始まりから化粧品取り扱いまで、メイクアップ知識全域を学習します。骨格や顔の部位の名称、皮膚の3層の構造を理解し、悩みの原因や対処方法を含む美しい肌づくりの基礎をベースに学びます。				
到達目標	皮膚構造により、悩みに対応したカウンセリング、化粧品の成分や働きを踏まえメイクだけでなくベースとなる肌状態を説明できるようになります。また、ゴールデンプロポーションや修正理論を通し、TPOに合わせた対応を習得します。				
テーマ		内容			
化粧の始まりと技術者の心得		化粧の歴史を知り、心構えを学ぶ			
骨格と筋肉		顔の土台となる骨格、筋肉の名称と働きを学ぶ			
ゴールデンプロポーション		顔のバランスとは何かを知り美しいプロポーションの基本を学ぶ			
修正テクニック理論		目を大きく見せるなど技術の裏づけとなる修正理論を学ぶ			
皮膚のしくみ		皮膚はどのような構造をしているのかを知り複雑なしくみを学ぶ			
皮膚の働き		細胞や器官の働きや役割について学ぶ			
肌タイプ、肌悩みと対応		4つの肌タイプと様々な肌悩みのメカニズムを学ぶ			
季節と肌		季節による肌変化と対策を学ぶ			
外的環境		環境による肌状態の変化と外気が及ぼす影響を学ぶ			
内的環境		肌と体内の関係を知り、身体が及ぼす肌への影響を学ぶ			
教材				評価基準	評価率
				出席率	30%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	50%
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	RMKメイクアップ検定			科目No	MUA04
授業形態	実習	授業コマ数	90	単位数	3
担当教員	古賀彩・井手麻奈香				
実務経験教員	古賀彩				
実務内容	メイク関係業界で美容部員として従事				
授業の概要	株式会社エキップブランドRMKのメイクテクニックを習得できる検定です。メイクアップアーティストよりナチュラルメイクアップに必要な知識・技術を学びます。顔型やパーツのイメージ分析し、立体感と素肌美を生かすテクニックを身につけます。				
到達目標	メイクアップアーティストより直接指導を受け、ナチュラルメイクアップに必要な知識と技術を身につけます。立体感と素肌美を生かしたメイクが短時間で出来るようになり1年目の美容部員同等の検定合格を目標とします。				
テーマ		内容			
肌分析とスキンケア法		肌質に合わせたスキンケア法とその効果を学ぶ			
ベースメイク実習		時間内に肌を美しくみせるポイントを学びトレーニングする			
アイメイク		モデルの骨格・アイブロウの形を理解しモデルに合わせたテクニックを学ぶ			
リップメイク		モデルを生かしたリップラインを描くトレーニング			
パーソナルメイクテクニック		モデルに合わせたバランスの工夫を繰り返しトレーニングする			
トレンドテクニック		ブランドマーケティングによるトレンドテクニックを学ぶ			
検定対策		検定同様の時間と環境で、合格を目指すトレーニング			
模擬試験		時間内にメイクを仕上げ、合格レベルを確認する			
教材			評価基準	評価率	
RMKマニュアル 配布資料 化粧品教材			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等	RMKメイクアップ検定 ディプロマ発行				

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	ネイル			科目No	MUA07
授業形態	実習	授業コマ数	60	単位数	2
担当教員	末岡真衣子				
実務経験教員	末岡真衣子				
実務内容	ネイル関係業界でネイリストとして従事				
授業の概要	ネイルケアの歴史、爪の構造や働き、病気について学びます。 相モデルでマニキュアの練習を繰り返し、 JNECネイリスト技能検定3級の基本的な技術を学び、検定受験対策授業を行います。				
到達目標	JNECネイリスト技能検定3級程度のベーシックなネイルのテクニックが身につきます。 爪の構造や役割などの理論と共に、様々な道具の使い方などを理解し、基礎となる技術を習得し、検定合格を目標とします。				
テーマ		内 容			
セッティング		ネイル器具の名称を覚え、正確なセッティングを行う			
デモンストレーション		デモンストレーションを通じ、3級検定の流れとポイントを理解する			
爪の構造と病気		爪の各部名称を覚え、構造と病名・症状や原因を学ぶ			
衛生と消毒		安心安全な環境のための手指と器具の消毒方法を学ぶ			
ネイルケア		爪の健康を保つためのネイルケアの基本を習得する クリーンナップの手順を学ぶ			
ネイルケア		ルースキューティクルの除去をする キューティクルニッパーの使い方を習得する			
ファイリング		基本的なファイルのかけ方を学ぶ ラウンドカットスタイルに整える方法を習得する			
カラーリング		カラーリングの手順を学び、ムラのないカラーリングができる			
フラットアート		テーマにあわせたアートの図案を考え、方法を学ぶ			
模擬試験		指定された時間内で施術し、合格レベルを目指す			
教 材				評価基準	評価率
JNAテクニカルベーシックテキスト ネイル教材				出席率	30%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	50%
関連資格・検定 コンテスト等	JNEC3級ネイリスト技能検定				

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介 (2023年度)

科目名	ヘアアレンジ			科目No	MUA08
授業形態	実習	授業コマ数	30	単位数	1
担当教員	伊藤恵理子				
実務経験教員	伊藤恵理子				
実務内容	美容関係業界で美容師として従事				
授業の概要	ヘアアイロンの使用方法や、様々なスタイルを軸に、ヘアアレンジの基本を学習します。ナチュラルから作品として映えるスタイルにまで対応できるテクニックを学びます。				
到達目標	ヘアアレンジの理解を深め、基本的なアレンジスタイルができるようになります。設定した時間で2パターンのヘアアレンジ変化を学習し、実践ができるようにします。メイクアップイメージに似合わせたヘアアレンジを提案できるようになります。				
テーマ	内 容				
アイロンワーク	アイロンワークの基本を理解する アイロンを用いた、多様なスタイルを習得する				
アップスタイルの基本	ピンの止め方とゴムの使い方を習得する 20分でオリジナルウィッグスタイルを作る				
逆毛と編み技術	逆毛の立て方と編み込み5種類の技術を習得する 20分でオリジナルウィッグスタイルを作る				
作品制作	テーマを決めて作品を作る ダイヤモンドシルエットを理解する				
コンテスト向けアレンジ①	夜会巻きを使ったコンテスト向けアレンジを作る				
コンテスト向けアレンジ②	シニヨンの応用を学び、シニヨンを使ったコンテスト向けアレンジを作る				
オリジナル作品作り	相モデルでヘアとメイクを行い、撮影する				
ナチュラルアレンジ	オーデザインズに向けてナチュラルスタイルを実践する				
ミドル世代アレンジ	30代、40代向きのアレンジスタイルを学ぶ				
教 材				評価基準	評価率
ヘアアイロン ヘア剤 リングコーム・ブラシ類 ピン類				出席率	30%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	50%
関連資格・検定 コンテスト等					



## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介 (2023年度)

科目名	パーソナルカラー			科目No	MUA10
授業形態	講義	授業コマ数	30	単位数	2
担当教員	木田裕美				
実務経験教員	木田裕美				
実務内容	パーソナルカラー講師として従事				
授業の概要	色彩学を基に色の成り立ちを学習します。各人の持つ肌・髪の毛・虹彩からブルーベースやイエローベースの基本を学習し、似合う色を4つの分類で見分けます。パーソナルカラー検定モジュール1の合格を目指します。				
到達目標	メイクアップに欠かせない色の基本を理解し、イメージを説明できるようになります。また、カラーの分類と色の見分け方を習得する事で、検定合格を目標とします。				
テーマ		内容			
パーソナルカラー概論		パーソナルカラーの役割とベースの特徴を理解する			
4シーズンの特徴		4シーズンの特徴を理解する 4シーズンを仕分けし、コラージュを作成する			
光と色		色を見るための3つの条件を覚える			
色の三属性		色の要素を理解し、覚える			
トーン		トーンのイメージと清色・濁色の見分けを学ぶ			
色の感情効果		色の心理的影響を理解する			
配色		配色調和論を学び、基本的な配色を理解する			
3属性と肌色の見え方		3つの属性が肌色の見え方に与える影響を理解する			
検定対策		模擬テスト形式で繰り返し、ポイントを覚える			
教材				評価基準	評価率
日本パーソナルカラー協会テキスト 配布資料 カラー配色カード				出席率	30%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	50%
関連資格・検定 コンテスト等	日本パーソナルカラー協会 パーソナルカラー検定 モジュール1				

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介 (2023年度入学生)

科目名	デッサン			科目No	MUA11
授業形態	実習	授業コマ数	30	単位数	1
担当教員	ナカシンイチ				
実務経験教員	ナカシンイチ				
実務内容	画家として従事				
授業の概要	メイクアップに欠かせない立体を正確に表現するために、光と影を中心に鉛筆デッサンを用いて理解を深めます。静物画、人物画などを通じ、陰影法、遠近法、人体構造といったデッサンの基本的技術を学びます。				
到達目標	鉛筆で、光と影を細かく理解しデッサンできる技術を身につけます。「物を見る目」「空間を把握する感覚」「表現する力」特に人物の立体について深く理解しメイクアップの表現に役立つ技術を身につける事を目標とします。				
テーマ		内 容			
線と量感		線の描き方、丸い形のデッサン			
光源と陰影		光源によるエッジの変化			
円と球体、楕円形		円の描き方、球体モデルのデッサン			
エッジの構造		ネリゴムによる不定形六面体のデッサン			
人体頭部の構造		基本構造と比率、イラストレーションを描く			
省略と抽出		短時間で描ける工夫を探るイラストレーション			
面分解と立体把握		マネキンの正面、横顔、斜めのデッサン 左右対称、正中線の理解			
ネガティブスペースと人物模写		画面の量感把握方法 ケイト=モスの模写			
トーンと調整		色彩の基礎、色の作り方の基本			
混色技法		目的の色を得るための数学的思考を学ぶ			
教 材				評価基準	評価率
配布資料 鉛筆、絵の具など配布教材				出席率	30%
				取組姿勢	10%
				課題・試験 成果物評価等	60%
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介 (2023年度入学生)

科目名	コンテスト			科目No	MUA12
授業形態	実習	授業コマ数	90	単位数	3
担当教員	古賀彩・井手麻奈香・野中夕香子・若林志緒利				
実務経験教員					
実務内容					
授業の概要	今期のトレンド検証を行い、モデルに合わせたテーマを設定します。 作品のイメージボードを作成することで、作りたいイメージを表現し、メイク・ヘアスタイル・ファッションのバランスを考え作成します。				
到達目標	テーマに沿ったコンセプトを考え、作成し、モデルの表現まで提案します。 現場でも必要なチームワークやコミュニケーションを身につけます。				
テーマ		内 容			
トレンド分析		情報を収集し、今期のトレンドを分析する			
イメージボード作成		作りたいイメージの画像を集め、整理する			
企画書作成		イメージボードから具体的なメイクデッサンをする			
作品制作①		イメージを前提にメイクを練習する			
作品制作②		イメージに合わせたヘアスタイルを練習する			
作品制作③		イメージに合わせたファッションを作成する			
作品制作④		モデルに合わせて全体のバランスを調整する			
リハーサル		指定された時間内で作品を仕上げるトレーニングを行う			
ショー構成		ステージでの見せ方を、照明・音楽と共に考える			
教 材			評価基準	評価率	
配布資料 化粧品教材一式			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等	ファイナルコンテスト				





■ メイクアップ科1年次 メイクアップアーティスト コース必修科目紹介（2023年度）

科目名	<b>流行史</b>			科目No	MAC03
授業形態	講義	授業コマ数	30	単位数	2
担当教員	古賀彩・井手麻奈香				
実務経験教員					
実務内容					
授業の概要	過去の年代別トレンド変遷を、時代の出来事から学びます。ヘア・メイク・ファッションのトレンドを研究し、トータルバランスで表現します。				
到達目標	学んだ過去のトレンドをアレンジした作品を考えられる応用力が身につきます。新たなトレンドを考え発信する力を活かすことを目標とします。				
テーマ		内 容			
トレンド変遷①		1920年代のトレンドを学び、表現する			
トレンド変遷②		1950年代のトレンドを学び、表現する			
トレンド変遷③		1960年代のトレンドを学び、表現する			
トレンド変遷④		1970年代のトレンドを学び、表現する			
トレンド変遷⑤		1980年代のトレンドを学び、表現する			
トレンド変遷⑥		1990年代のトレンドを学び、表現する			
トレンド変遷⑦		2000年代のトレンドを学び、表現する			
化粧の海外史		古代ローマ・エジプト～現代への化粧の歴史の知識を学ぶ			
新たなトレンド		現在の時代の流れから、新たなトレンドを考案し発信する			
教 材			評価基準	評価率	
配布資料 化粧品教材一式			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等					

■ メイクアップ科1年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介 (2023年度)

科目名	エステ実習			科目No	BAC01
授業形態	実習	授業コマ数	60	単位数	2
担当教員	吉開実咲				
実務経験教員	吉開実咲				
実務内容	エステティシャン				
授業の概要	フェイシャルエステティックの目的、効果、筋肉や骨格の名称などの理論を学びスタンスや腕全体の動かし方を習得します。				
到達目標	スキンケアの手順や目的を理解し、マッサージ技術を通じて、骨格や脂肪・皮膚の構造などの知識を深め、心地よく丁寧な技術を身につけます。 日本エステティック協会の技術に準じて、フェイシャルエステティックの基礎を学びます。				
テーマ	内 容				
フェイシャルエステティックの目的	教室や備品の使用方法や清掃の仕方を確認する フェイシャルトリートメントの目的、流れ、禁忌を学ぶ				
クレンジングの目的	クレンジングの必要性を理解し、施術を行う 圧、手順、ふき取りまでの一連のクレンジングができる				
ディープクレンジング	ディープクレンジングの種類や肌質との関係を学ぶ クレンジングを行い、酵素で角質ケアを行う				
6法の目的と効果と実践①	6法の特徴、スキントイプの特徴、見分け方を学ぶ クレンジング・マッサージの手法を習得する				
6法の目的と効果と実践②	筋肉・骨格を学ぶ クレンジング・マッサージの手法を習得する				
6法の目的と効果と実践③	カウンセリングの目的、すすめ方、書き方を学ぶ セルフクレンジング後、マッサージの手法を習得する				
6法の目的と効果と実践④	皮膚に大切な栄養を学ぶ クレンジング・マッサージの手法を習得する				
フェイシャルトリートメントの流れ	モデルの肌質を理解し、衛生面、モデルへのマナーを 重点的に学び習得する				
スクラブの使用	スクラブの効果と目的を理解し、使用方法を学ぶ				
フェイシャルテスト	各手技の正確さと丁寧さを重点的に学び習得する				
教 材				評価基準	評価率
日本エステティック協会 理論と技術 配布資料 化粧品教材				出席率	50%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	30%
関連資格・検定 コンテスト等	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン資格				

■ メイクアップ科1年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2023年度）

科目名	アロマテラピー			科目No	BAC02
授業形態	講義	授業コマ数	15	単位数	1
担当教員	日高由美				
実務経験教員	日高由美				
実務内容	エステティシャン				
授業の概要	精油の種類を学び、特徴や心身に働きかける芳香療法を学びます。香りの使用方法に対する知識が深まり、アロマ検定に向けて対策授業も行います。				
到達目標	アロマテラピーの正しい知識を持ち、伝えることができるようになります。美と健康の増進に役立て、香りに囲まれた健やかなライフスタイルを送る知識習得と検定合格を目標とします。				
テーマ		内 容			
アロマテラピーの歴史		植物と、その香りの利用されていた歴史を知る			
アロマテラピーについて		アロマテラピーと精油の定義について学ぶ			
アロマテラピーの利用法		精油が心身に作用する経路を学ぶ			
精油の基礎知識		精油のプロフィールを習得する			
安全な精油の使い方		精油を安全に使うための注意点を理解する			
アロマテラピーに関係する法律		アロマテラピーに関係するルールを学ぶ			
アロマテラピー検定対策		練習問題を使用し、アロマテラピー検定1級合格を目指す			
教 材			評価基準	評価率	
日本アロマ環境協会テキスト 配布資料ファイル エッセンシャルオイル			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等	日本アロマ環境協会 アロマテラピー検定1級				

■ メイクアップ科1年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2023年度）

科目名	接客カウンセリング			科目No	BAC03
授業形態	講義	授業コマ数	15	単位数	1
担当教員	古賀彩・橋本かすみ				
実務経験教員	古賀彩				
実務内容	美容部員				
授業の概要	接客業として、お客様に対応するビジネスマナーや基礎的知識を学びます。特に表情と動作、身だしなみや言葉遣いなど、社会人の基礎を中心に学習します。				
到達目標	即戦力となるための知識とコミュニケーション力を身につけます。肌悩みのヒアリングや、パーソナルなアドバイス、購買に至る実践力を身につけます。				
テーマ		内容			
第一印象		第一印象とは何かを理解し、印象をアップする方法を学び実践する			
固定客をつかむ表情、しぐさ		表情筋のトレーニングで、笑顔美人を目指す 立ち方、歩き方など、他者目線で美しいしぐさを習得する			
一般常識、ビジネスマナー		ビューティーアドバイザーに必要な常識やマナーを テスト形式で学ぶ			
心をつかむ声掛け法		観察・分析・表現を学び、パーソナル対応を習得する			
接客の流れ		お迎えからお見送りまで、基本的な接客用語を使った ロールプレイング			
ビジネスマナー		報告連絡相談のタイミングを学ぶ 電話の受け答えを実践でトレーニングする			
傾聴のポイント		繰り返しや共感を行いながら、傾聴するトレーニング			
悩み別の原因と対策		肌状態を見極め、基本的な説明ができる			
聞きだしと提案		相手に合わせた聞きだしの仕方と提案方法を学ぶ			
教材			評価基準	評価率	
配布資料 配布化粧品一式			出席率	30%	
			取組姿勢	40%	
			課題・試験 成果物評価等	30%	
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科2年次 必修科目紹介 (2023年度)

科目名	就職対策・キャリア			科目No	MUA01
授業形態	講義	授業コマ数	60	単位数	4
担当教員	古賀彩・野中夕香子				
実務経験教員					
実務内容					
授業の概要	学生と社会人の違いを理解して、就職する目的を学習します。 キャリアプランを明確にし、自己理解を深めると共に、履歴書の書き方や面接のポイントも学びます。更に社会人マナーや基本的ルールを学習します。				
到達目標	社会のルールやマナーをベースに行動できるようになります。 自己分析や履歴書添削により就職準備と自分自身のアピールができます。 就職後の即戦力になる人材に成長することを目標とします。				
テーマ		内容			
理念、基本動作、5S		教育理念を理解し、実行できるよう基本動作をトレーニングする			
チームワーク		チームで協力する大切さを学び、実践することで尊重と感謝の気持ちを持つ			
働くことと学ぶこと		学生と社会人の違いを考え、社会人としての意識を持つ準備をする			
自己理解		自己分析で、長所や短所・特性を客観的に理解する			
業界研究		メイク業界の職種や現状を自ら研究することで就職後のキャリアを考える			
自己PR		自己理解をベースにアピールできる長所から表現方法を考える			
社会人常識マナー		社会人基礎力として大切な常識を学び常識範囲内での判断力を身につける			
履歴書・エントリーシート		履歴書やエントリーシートの書き方を学ぶ			
模擬面接		面接のマナーから、表情・話し方まで繰り返し練習する			
グループワーク		与えられたテーマのワークを通して、気づきを発表する			
教材				評価基準	評価率
配布資料				出席率	40%
				取組姿勢	30%
				課題・試験 成果物評価等	30%
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科2年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	メイク実習			科目No	MUA02
授業形態	実習	授業コマ数	360	単位数	12
担当教員	古賀彩・井手麻奈香・野中夕香子・若林志緒利				
実務経験教員	古賀彩・井手麻奈香・野中夕香子・若林志緒利				
実務内容	メイク関係業界でヘアメイクとして従事				
授業の概要	スキンケア、メイクアップの基礎知識から道具の使用法、手順などメイクアップを美しく仕上げる為のケア方法と様々なメイクテクニックを学びます。骨格の理解、立体を表現する技術や様々なシーンにあったテクニックを学習します。				
到達目標	技術の基本となる、「形」「色」「質感」を理解し、設定された時間内でメイクアップ技術ができるようになります。モデルの顔型に合わせたパーツメイクの修正やシーン、幅広いテクニックの表現を学びメイクアップの提案が出来ることを目標とします。				
テーマ		内 容			
ナチュラルメイク		基本的な化粧品で素早く自然なメイクアップができる			
ゴールデンプロポーション		顔のパーツ位置により印象の違いを学ぶ ゴールデンプロポーションに近づけるテクニックを学ぶ			
グラデーション		アイメイク中心にグラデーションテクニックを習得する			
立体		骨格を活かし、立体感をつくるテクニックを習得する			
カラーバランス		パーソナルカラーを活かし、カラーバランステクニックを習得する			
質感		様々な質感のメイクアップテクニックを習得する			
曲線フォルムメイク①		キュートな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える			
曲線フォルムメイク②		ソフトな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える			
直線フォルムメイク③		クールな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える			
直線フォルムメイク④		フレッシュな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える			
教 材				評価基準	評価率
メイクアップ科 教科書 配布資料 化粧品教材				出席率	30%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	50%
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科2年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	スカルプチャーメイク検定			科目No	MUA05
授業形態	実習	授業コマ数	90	単位数	3
担当教員	野中夕香子・若林志緒利				
実務経験教員	野中夕香子・若林志緒利				
実務内容	メイク関係業界でヘアメイクとして従事				
授業の概要	メイクアップの基本である「骨格」に合わせるメイク技術を学びます。ブランドを代表するアーティストの授業を受講し、モデルに合わせた修正を加えながらテーマ課題をメイクアップで表現します。				
到達目標	化粧品ブランドメイクアップフォーエバーと共に立案したスカルプチャー検定です。骨格を見る・合わせる事を極めたメイクアップができるようになります。プロアーティストが認める知識・技術の両面から学び、検定合格を目標とします。				
テーマ		内 容			
骨格について		顔の土台となる骨格の見方、捉え方を学ぶ			
筆記試験対策		過去問題に取り組み、筆記試験合格を目指す			
デモンストレーション		スカルプティングでの教材の使い方や基本テクニックを学ぶ			
修正メイクアップ		骨格や顔型など個々の違いによる修正方法とその効果を学ぶ			
ベーステクニック①		立体的に見せる基本のテクニックをトレーニングする			
ベーステクニック②		モデルの骨格に合わせ、ベースの立体感を調整する			
アイメイクアップテクニック		モデルに合わせたアイブロウとアイメイクのポイントをトレーニングする			
リップテクニック		ゆがみのないきれいなラインを描くトレーニングをする			
パーソナルメイクテクニック		モデルに合わせたバランスの工夫を繰り返しトレーニングする			
検定対策		時間と環境を検定同様にし、合格を目指すトレーニング			
教 材				評価基準	評価率
配布資料 化粧品教材				出席率	30%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	50%
関連資格・検定 コンテスト等	メイクアップフォーエバー ディプロマ発行				

## ■ メイクアップ科2年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	オーデザンズ実習			科目No	MUA06
授業形態	実習	授業コマ数	30	単位数	1
担当教員	野中夕香子・若林志緒利				
実務経験教員	野中夕香子・若林志緒利				
実務内容	メイク関係業界でヘアメイクとして従事				
授業の概要	天神・オーデザンズにて実習を行います。お迎え、カウンセリング、ご希望の聞き出しスキンケア及びヘアメイクの提案から実技、お見送りまでの一連の流れを学習します。				
到達目標	お客様への気配りや心配りの大切さを学び、お迎えからクロージングまでの一連のメイクサービスとヘアアレンジ提案ができるようになります。 働く上で重要なチームワークの形成を体験しながら構築します。				
テーマ		内 容			
オリジナルツール作成		カウンセリングや商品提案で使いやすさを考えたアドバイスツールを作成する			
目標設定		チームごとに話し合い、目標を設定する			
顧客獲得について		運営の目的を理解し、集客のための行動を考える			
カルテの必要性和活用方法		お客様情報のカルテの必要性を知り 使い方をトレーニングする			
注意事項		施設利用にあたって注意事項やルールを理解する			
接客ロールプレイング		接客の流れやサポートについてロールプレイング形式で トレーニングする			
クロージング方法		購入に至るクロージングの方法を学び、購買意欲を高める			
金銭授受		レジの使い方を学び、金銭授受の方法や確認すべきことを習得する			
集客と運営		事前集客を行い、お客様に満足していただける運営を行う			
実績計算		集客や販売の目標に対する達成度や進捗など 接客業に必要な計算方法を学ぶ			
教 材				評価基準	評価率
配布資料				出席率	20%
				取組姿勢	40%
				課題・試験 成果物評価等	40%
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科2年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	ヘアアレンジ			科目No	MUA08
授業形態	実習	授業コマ数	30	単位数	1
担当教員	伊藤恵理子				
実務経験教員	伊藤恵理子				
実務内容	美容関係業界で美容師として従事				
授業の概要	ヘアアイロンの使用方法や、様々なスタイルを軸に、ヘアアレンジの基本を学習します。ナチュラルから作品として映えるスタイルにまで対応できるテクニックを学びます。				
到達目標	ヘアアレンジの理解を深め、基本的なアレンジスタイルができるようになります。設定した時間で2パターンのヘアアレンジ変化を学習し、実践ができるようにします。メイクアップイメージに似合わせたヘアアレンジを提案できるようになります。				
テーマ	内 容				
アイロンワーク	アイロンワークの基本を理解する アイロンを用いた、多様なスタイルを習得する				
アップスタイルの基本	ピンの止め方とゴムの使い方を習得する 20分でオリジナルウィッグスタイルを作る				
逆毛と編み技術	逆毛の立て方と編み込み5種類の技術を習得する 20分でオリジナルウィッグスタイルを作る				
作品制作	テーマを決めて作品を作る ダイヤモンドシルエットを理解する				
コンテスト向けアレンジ①	夜会巻きを使ったコンテスト向けアレンジを作る				
コンテスト向けアレンジ②	シニヨンの応用を学び、シニヨンを使ったコンテスト向けアレンジを作る				
オリジナル作品作り	相モデルでヘアとメイクを行い、撮影する				
ナチュラルアレンジ	オーデザインズに向けてナチュラルスタイルを実践する				
ミドル世代アレンジ	30代、40代向きのアレンジスタイルを学ぶ				
教 材				評価基準	評価率
ヘアアイロン ヘア剤 リングコーム・ブラシ類 ピン類				出席率	30%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	50%
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科2年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	デッサン			科目No	MUA11
授業形態	実習	授業コマ数	30	単位数	1
担当教員	ナカシンイチ				
実務経験教員	ナカシンイチ				
実務内容	画家として従事				
授業の概要	メイクアップに欠かせない立体を正確に表現するために、光と影を中心に鉛筆デッサンを用いて理解を深めます。静物画、人物画などを通じ、陰影法、遠近法、人体構造といったデッサンの基本的技術を学びます。				
到達目標	鉛筆で、光と影を細かく理解しデッサンできる技術を身につけます。「物を見る目」「空間を把握する感覚」「表現する力」特に人物の立体について深く理解しメイクアップの表現に役立つ技術を身につける事を目標とします。				
テーマ		内 容			
線と量感		線の描き方、丸い形のデッサン			
光源と陰影		光源によるエッジの変化			
円と球体、楕円形		円の描き方、球体モデルのデッサン			
エッジの構造		ネリゴムによる不定形六面体のデッサン			
人体頭部の構造		基本構造と比率、イラストレーションを描く			
省略と抽出		短時間で描ける工夫を探るイラストレーション			
面分解と立体把握		マネキンの正面、横顔、斜めのデッサン 左右対称、正中線の理解			
ネガティブスペースと人物模写		画面の量感把握方法 ケイト=モスの模写			
トーンと調整		色彩の基礎、色の作り方の基本			
混色技法		目的の色を得るための数学的思考を学ぶ			
教 材				評価基準	評価率
配布資料 鉛筆、絵の具など配布教材				出席率	30%
				取組姿勢	10%
				課題・試験 成果物評価等	60%
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科2年次 必修科目紹介（2023年度）

科目名	コンテスト			科目No	MUA12
授業形態	実習	授業コマ数	150	単位数	5
担当教員	古賀彩・井手麻奈香・野中夕香子・若林志緒利				
実務経験教員					
実務内容					
授業の概要	今期のトレンド検証を行い、モデルに合わせたテーマを設定します。 作品のイメージボードを作成することで、作りたいイメージを表現し、メイク・ヘアスタイル・ファッションのバランスを考え作成します。				
到達目標	テーマに沿ったコンセプトを考え、作成し、モデルの表現まで提案します。 現場でも必要なチームワークやコミュニケーションを身につけます。				
テーマ		内 容			
トレンド分析		情報を収集し、今期のトレンドを分析する			
イメージボード作成		作りたいイメージの画像を集め、整理する			
企画書作成		イメージボードから具体的なメイクデッサンをする			
作品制作①		イメージを前提にメイクを練習する			
作品制作②		イメージに合わせたヘアスタイルを練習する			
作品制作③		イメージに合わせたファッションを作成する			
作品制作④		モデルに合わせて全体のバランスを調整する			
リハーサル		指定された時間内で作品を仕上げるトレーニングを行う			
ショー構成		ステージでの見せ方を、照明・音楽と共に考える			
教 材				評価基準	評価率
配布資料 化粧品教材一式				出席率	30%
				取組姿勢	20%
				課題・試験 成果物評価等	50%
関連資格・検定 コンテスト等	ファイナルコンテスト				





■ メイクアップ科2年次 メイクアップアーティスト コース必修科目紹介（2023年度）

科目名	ジェルネイル			科目No	MAC04
授業形態	実習	授業コマ数	60	単位数	2
担当教員	末岡真衣子				
実務経験教員	末岡真衣子				
実務内容	ネイル関係業界でネイリストとして従事				
授業の概要	ジェルネイルに必要な基礎理論と、カラーリング技術を学びます。 また、検定課題に応じたアートテクニックを習得します。ネイル3級をベースとした検定対策中心の授業です。				
到達目標	基本的なジェルネイル技術ができるようになります。 基本のネイルデザイン技術を学び、ジェルネイル検定初級の合格を目標とします。				
テーマ		内容			
ジェルネイルの基礎		デモンストレーションを見て、基本技術と流れを学ぶ チップで基本技術のレッスンをを行う			
ジェルアート①		テーマにあわせたアートテクニックを学びトレーニングする			
ネイルケアとカラーリング		3級検定の復習を行い、ラウンドのファイリングと カラーリングを習得する			
ジェルアート②		テーマにあわせたアートテクニックを考えトレーニングする			
筆記対策		合格のポイントを学び、過去問題を解く			
課題分析		自身の課題を分析し、苦手な工程のトレーニングを行う			
模擬試験		時間内の意識徹底を徹底し、一連の流れができる カラーリングを強化し、合格レベルを目指す			
教材			評価基準	評価率	
配布資料 JNAテクニカルテキスト ネイル教材一式			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等	JNAジェルネイル初級検定				



■ メイクアップ科2年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2023年度）

科目名	アロマテラピー			科目No	BAC02
授業形態	講義	授業コマ数	15	単位数	1
担当教員	日高由美				
実務経験教員	日高由美				
実務内容	エステティシャン				
授業の概要	精油の種類を学び、特徴や心身に働きかける芳香療法を学びます。 香りの使用方法に対する知識が深まり、アロマ検定に向けて対策授業も行います。				
到達目標	アロマテラピーの正しい知識を持ち、伝えることができるようになります。 美と健康の増進に役立て、香りに囲まれた健やかなライフスタイルを送る知識習得と 検定合格を目標とします。				
テーマ		内容			
アロマテラピーの歴史		植物と、その香りの利用されていた歴史を知る			
アロマテラピーについて		アロマテラピーと精油の定義について学ぶ			
アロマテラピーの利用法		精油が心身に作用する経路を学ぶ			
精油の基礎知識		精油のプロフィールを習得する			
安全な精油の使い方		精油を安全に使うための注意点を理解する			
アロマテラピーに関係する法律		アロマテラピーに関係するルールを学ぶ			
アロマテラピー検定対策		練習問題を使用し、アロマテラピー検定1級合格を目指す			
教材			評価基準	評価率	
日本アロマ環境協会テキスト 配布資料ファイル エッセンシャルオイル			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等	日本アロマ環境協会 アロマテラピー検定1級				

■ メイクアップ科2年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介 (2023年度)

科目名	接客カウンセリング			科目No	BAC03
授業形態	講義	授業コマ数	30	単位数	2
担当教員	古賀彩・橋本かすみ				
実務経験教員	古賀彩				
実務内容	美容部員				
授業の概要	接客業として、お客様に対応するビジネスマナーや基礎的知識を学びます。特に表情と動作、身だしなみや言葉遣いなど、社会人の基礎を中心に学習します。				
到達目標	即戦力となるための知識とコミュニケーション力を身につけます。肌悩みのヒアリングや、パーソナルなアドバイス、購買に至る実践力を身につけます。				
テーマ		内容			
第一印象		第一印象とは何かを理解し、印象をアップする方法を学び実践する			
固定客をつかむ表情、しぐさ		表情筋のトレーニングで、笑顔美人を目指す 立ち方、歩き方など、他者目線で美しいしぐさを習得する			
一般常識、ビジネスマナー		ビューティーアドバイザーに必要な常識やマナーを テスト形式で学ぶ			
心をつかむ声掛け法		観察・分析・表現を学び、パーソナル対応を習得する			
接客の流れ		お迎えからお見送りまで、基本的な接客用語を使った ロールプレイング			
ビジネスマナー		報告連絡相談のタイミングを学ぶ 電話の受け答えを実践でトレーニングする			
傾聴のポイント		繰り返しや共感を行いながら、傾聴するトレーニング			
悩み別の原因と対策		肌状態を見極め、基本的な説明ができる			
聞きだしと提案		相手に合わせた聞きだしの仕方と提案方法を学ぶ			
教材			評価基準	評価率	
配布資料 配布化粧品一式			出席率	30%	
			取組姿勢	40%	
			課題・試験 成果物評価等	30%	
関連資格・検定 コンテスト等					

■ メイクアップ科2年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介 (2023年度)

科目名	<b>エステ理論</b>			科目No	BAC04
授業形態	講義	授業コマ数	15	単位数	1
担当教員	吉開実咲				
実務経験教員	吉開実咲				
実務内容	エステティシャン				
授業の概要	エステティックの概念、領域、歴史から学びます。 また、カウンセリングの基本的な考え方や衛生管理など求められる資質についても学習します。				
到達目標	エステティックの概念を理解し、エステティックの領域と意義について学びます。 守るべき法律を理解し、基本的な知識を全般的に学び、 認定フェイシャルエステティシャンの資格取得を目標とします。				
テーマ		内 容			
エステティック概論		エステティックの概念、法律を学び エステティックカウンセリングのポイントを理解する			
化粧品の種類とはたらき		化粧品を規制する法律、化粧品の種類と特徴を学ぶ			
衛生と消毒		衛生の意味を理解し、消毒方法を身につける			
皮膚学①		皮膚構造と各器官の働きを学ぶ			
皮膚学②		老化を促進する要因を理解する			
皮膚学③		美肌のためのインナーケアを学ぶ			
模擬試験		問題集を解き、課題を繰り返し、合格基準に達する			
教 材			評価基準	評価率	
日本エステティック協会 理論と技術 配布資料			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン資格				

■ メイクアップ科2年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介 (2023年度)

科目名	解剖生理・栄養学			科目No	BAC05
授業形態	講義	授業コマ数	15	単位数	1
担当教員	合志恵				
実務経験教員	合志恵				
実務内容	看護師				
授業の概要	身体は細胞の集合体であり、複雑な構造をしていることを学び、さらに器官ごとにそれぞれのしくみと働きを理解します。同時に栄養の知識を学ぶことで、美容と健康の関係を習得します。				
到達目標	身体の細胞・組織のしくみと働きを理解します。全身の組織の関連によって起こる心身の様々な反応を確認し、認定フェイシャルエステティシヤンの資格取得を目標とします。				
テーマ		内 容			
エネルギー消費・1日摂取量		栄養価/所要量/栄養と美容について学ぶ			
ホメオスタシス		ホメオスタシス・体内調整バランスについて学ぶ			
身体のしくみ①		人体全体の基本情報を理解する			
身体のしくみ②		体内情報の伝達の仕組・ホルモンバランスを学ぶ			
身体のしくみ③		消化器の構造と働きを知る			
身体のしくみ④		体内濾過機能と排泄の仕組みを理解する			
確認テスト		過去問題とポイント解説			
教 材			評価基準	評価率	
日本エステティック協会 理論と技術 配布資料			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシヤン資格				

■ メイクアップ科2年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介 (2023年度)

科目名	パーソナルカラー			科目No	BAC06
授業形態	講義	授業コマ数	30	単位数	2
担当教員	木田裕美				
実務経験教員	木田裕美				
実務内容	パーソナルカラー講師				
授業の概要	色の属性と効果について、細かく見分けができるように、表色系マンセル・PCGSも同時に学習します。混色では、三原色の混色によってできる色を理解します。各シーズンらしさを表すイメージワードを結びつけ、提案に活かす方法を学びます。				
到達目標	2つのベースカラーを基に、肌のトーンを上げる色や透明感を感じる色選びや似合う色の基本的な考えを理解し、相手に合わせて提案できるようになります。パーソナルカラー検定モジュール2の合格を目標とします。				
テーマ		内 容			
色の属性と効果		色相・明度・彩度・清濁について、色の見分けの段階を細かくする			
表色系①		マンセル表色系			
表色系②		PCGS表色系とトーン			
色名		色の特徴と色名、色名の由来			
光源		光源の性質と色の見え方			
配色法		配色技法の基本的分類			
物体		物体表面の質感による見え方			
フォーシーズン分類		シーズン色の属性とイメージワード			
検定対策		模擬テスト形式で繰り返し、ポイントを覚える			
ドレーピング		パーソナルカラー分析診断			
教 材			評価基準	評価率	
配布資料 日本パーソナルカラー協会 テキスト 配色カード			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等	日本パーソナルカラー協会 パーソナルカラー検定 モジュール2				

■ メイクアップ科2年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介 (2023年度)

科目名	ブランドマーケティング・セルフプロデュース			科目No	BAC07
授業形態	講義	授業コマ数	45	単位数	3
担当教員	古賀彩・橋本かすみ				
実務経験教員	古賀彩				
実務内容	美容部員				
授業の概要	化粧品業界全体やブランド別に考え方を学びます。 また、化粧品の特徴を深く知るために、百貨店に於いて接客体験や化粧品を手にとり、感じたことのレポートを作成およびプレゼンテーションを行います。				
到達目標	化粧品業界に就職する上で必要な考え方を学びます。市場調査と体験を通しレポートおよびプレゼンテーションを軸とした研究授業の中で、化粧品への興味を深くし自身のビューティーアドバイザー像を明確にします。				
テーマ		内容			
ブランドカテゴリー		コスメブランドとメーカーの関係を学び、グループ企業を理解する			
流通形態		様々な流通形態の違いを学び、理解する			
経営方針		各企業の経営理念や方針を学ぶ			
接客体験		流通形態ごとの接客を体験し、違いや特徴を分析する			
プレゼンテーション①		学びをレポートにまとめ、伝えるトレーニング			
アイテム比較		アイテムごとにブランドの違いや特徴を比較し、分析する			
ベストコスメ作成		あらゆる視点で調査し、比較するアイテムを考える 比較した製品を見やすくまとめ、レポートを作成する			
セルフプロデュース		自分自身を魅力的に見せる方法を考える			
プレゼンテーション①		パワーポイントや動画などによる魅力的なプレゼンテーションを行う			
教材			評価基準	評価率	
配布資料 化粧品教材一式			出席率	40%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	40%	
関連資格・検定 コンテスト等					

